

平成25年度 川崎市教育委員会授業力向上支援事業研究協力校

平成24・25年度 パナソニック教育財団 第38回 特別研究指定校

# 研究報告会

## 豊かに伝え合う力を育む授業づくり

### ～「情報活用能力を育成するための

### カリキュラム」の作成を通して～



パネルディスカッション  
横浜国立大学 野中 陽一先生  
明治大学 岸 磨貴子先生

校長 三上 勤

「豊かに伝えあう力を育む授業づくり」をテーマに、2年間にわたり子どもたちの情報活用能力を育成するためのカリキュラムの作成に向けて研究を進めてきました。情報活用の実践力をつける手立てとして5つの視点から「平小のスキル」を設定し、今年度は国語科の重点単元を中心に授業実践を行いました。

子どもたちは学習の課題や目的に応じた情報手段の適切な活用を通して「くみだてる」力が育ってきました。教師は実践と改善を繰り返す中で研究で得た学びを軸として日々「授業力の向上」に努めています。

パナソニック教育財団の特別研究指定校としてご指導いただいた野中陽一先生のご示唆、ご支援があったからこそ平小学校は「素晴らしい学びの果樹」を得ることができたと思っております。

私たちにこのような研究の機会をあたえてくださった『川崎市教育委員会』そして『パナソニック教育財団』に心より感謝とお礼を申し上げます。

平成26年1月24日(金)

## 川崎市立平小学校

めざす学校像

- ☆学ぶ喜びが味わえる学校
- ☆一人一人の子どもが伸びる学校
- ☆保護者・地域と共にあゆむ学校

学校教育目標

- ☆元気な子
- ☆考える子
- ☆やさしい子
- ☆がんばる子

児童の実態

平成24年度当初  
教師から提示された資料を読み取り、それを根拠とした話し合い活動が充実してきた。  
平成25年度当初  
「平小のスキル」を意識した学習活動を教師が行うことで、児童の課題解決する姿に情報手段の活用がよく見られるようになってきた。

研究テーマ

「豊かに伝えあう力を育む授業づくり」

～「情報活用能力を育成するためのカリキュラム」の作成を通して～

わたしたちがめざす「豊かに伝えあう」子ども像

5・6年	メディアを適切に利用し	説得力のある資料を作成したり	説明したりしながら	ものの見方や考え方を広げ 深める
3・4年	メディアを選択し	わかりやすい資料を作成したり	発表したりしながら	ものの見方や考え方を広げる
1・2年	メディアに慣れ親しみ	簡単な資料を作成したり	見せたりしながら	ものの見方や思いをもつ
センター級	一人一人に応じたメディアの有効活用を通して できる・わかる喜びを感じる			

見やすい  
わかりやすい  
使いやすい  
カリキュラム  
づくり

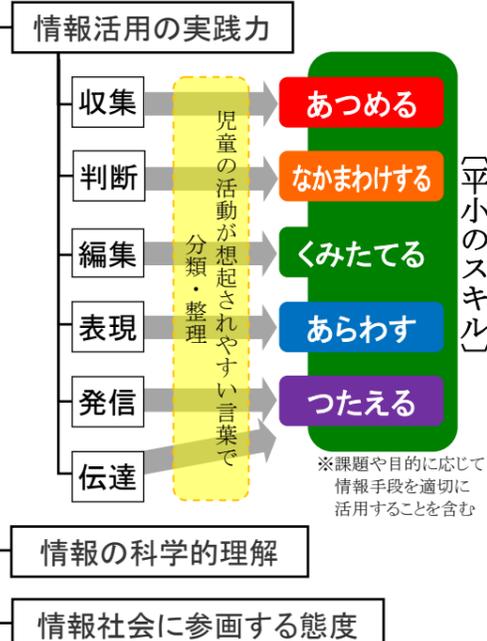
日常的に  
積み重ねていく  
実践と研修による  
授業改善

情報活用能力を育成するための  
情報環境の整備

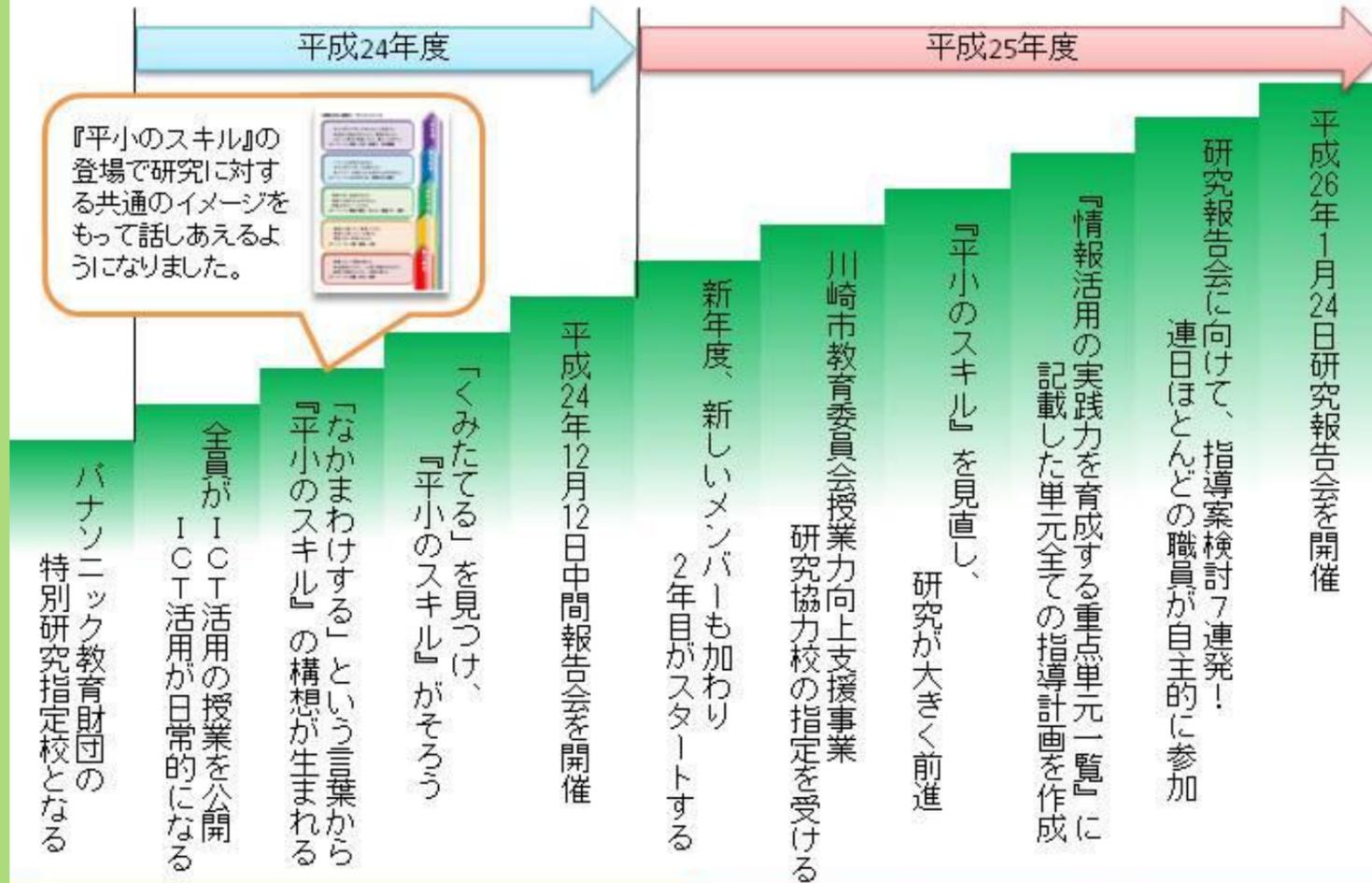
平小の取り組み

教科の内容に含まれている「情報活用の実践力を育成する」単元を抽出・整理し、授業実践から得られた知見を生かして「情報活用能力を育成するためのカリキュラム」を作成していく。

情報活用能力 [平小のスキル]の位置づけ



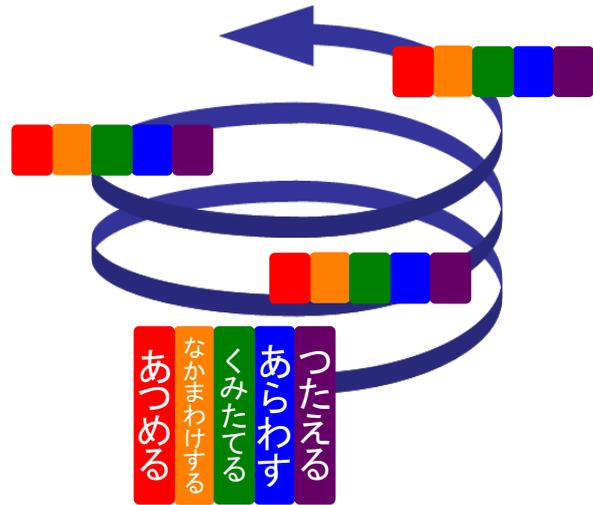
川崎市立平小学校研究のあゆみ



平成24年度(1年目) ～いろいろな教科で～			平成25年度(2年目) ～国語科を中心として～		
回・日付	学年・教科	授業者	回・日付	学年・教科	授業者
第1回・5/10	5年・社会	福山 創	第1回・5/9	2年・国語	加納 聖子
	3年・国語	濱家 恵以子		3年・国語	須藤 知美
第2回・6/22	4年・算数	水野 沙由紀		5年・国語	田中・岩崎
	全学年・ICT	全員	第2回・6/20 授業力向上 公開授業	2年・生活	柴島 千愛
第3回・7/6	1年・国語	佐藤 保		4年・国語	濱家 恵以子
第4回・10/26	2年・生活	森 朋子		6年・国語	江端 珠代
第5回・11/16	6年・国語	田中 啓介	第3回・7/4	1年・国語	河合 奈都紀
	センター級・生活単元	センター級担任		4年・国語	渡辺 佳菜子
	1年・国語	柴島 千愛		5年・国語	岩崎 幹
中間報告会 12/12	2年・国語	山本 露那	第4回・9/12 授業力向上 公開授業	2年・生活	加納 聖子
	3年・理科	岩崎 幹		3年・国語	武野 結基
	4年・算数	松本 隆太		5年・国語	田中 啓介
	5年・国語	柳田 圭子	第5回・10/31	1年・国語	若狭 美加
	6年・総合	田中 啓介		3年・国語	須藤 知美
	センター級・生活単元	センター級担任		6年・国語	石渡 菜穂子
第6回・1/25	5年・国語	武野 結基	センター級・生活単元	センター級担任	
第7回・2/22	1年・国語	佐藤 保	研究報告会 1/24	1～5年 国語	6年 総合
	6年・社会	長澤 拓也		センター級 生活単元	(全7クラス)

# 〔平小のスキル〕の育成イメージ

習得 から 活用 へ



〔平小のスキル〕を習得する段階での単元構想イメージ。  
単元の中で5つのスキルを繰り返し学習することで、確実に身につける。

## 国語科を中心として



ワークシート



付せん



ホワイトボード

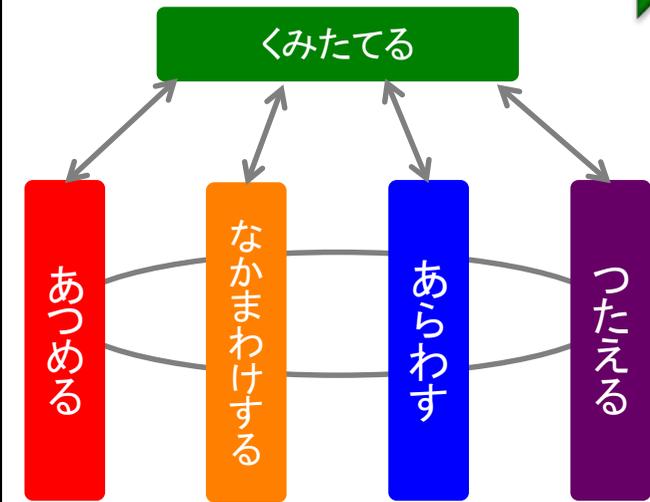


ホワイトボード+付せん



タブレットPC

個から集団へ コミュニケーションの充実



習得した〔平小のスキル〕を活用する段階での単元構想イメージ。「くみたてる」を中心に各スキル間を行ったりきたりしながら力を高める。

## 学習活動全般での活用

# 〔平小のスキル〕

○ 自分の考えや思いを相手に伝える。

高：自分の考えや意図を明確にして効果的に伝える。  
高：発表者の意図を考えながら情報を受けとる。  
中：自分の考えや思いが伝わるように工夫して伝える。  
低：自分の考えや思いを発表する。  
セ：自分なりの表現方法で伝える。

キーワード

発信  
受信  
交流  
説得力

つたえる

○ 自分の思いや考えを表現する。

高：表・グラフ・画像等を効果的に利用して表現する。  
高：課題に沿った形式や方法を用いて表現する。  
中：自分の思いや考えを言語化する。  
低：自分の思いや考えを絵や言葉で表現する。  
セ：自分なりの表現方法であらわす。

キーワード

表現方法  
相手意識

あらわす

○ 情報の効果的な活用を考え、課題に沿って、内容を構成する。

高：発表方法を意識し、情報の効果的な活用を考えて内容を構成する。  
中：表現方法を意識し、比較・分類した内容を課題に沿って構成する。  
低：伝えたいことを意識し、「はじめ・中・おわり」の順序で内容を構成する。  
セ：「なかまわけ」されたものをまとめたり、並べかえたりする。

キーワード

構想  
構成  
編集  
順序

くみたてる

○ 課題に沿って、情報を整理する。

高：情報を比較・分類・関連づけして整理する。  
中：情報を比較したり分類したりして整理する。  
低：情報をもつ特徴をみつけて整理する。  
セ：比べて相違点を見つける。

キーワード

整理  
分類  
比較  
関連づけ

なかまわけする

○ 課題に沿って、必要な情報を集める。

高：適切な手段を選んで情報を集める。  
中：インターネットやアンケートを使って情報を集める。  
低：体験・本・インタビュー等で情報を集める。  
セ：周りから聞いたり、体験したりして情報を集める。

キーワード

収集  
取材  
検索

あつめる

《平小のスキルを育成する重点単元一覧》

単元名 (時数) (平小のスキルを育成する活動内容)

国語科・生活科

総合的な学習の時間

2014年1月版

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
つたえる	おみせやさんごっこをしよう⑧(売る品物のよさがわかるらしをつくり, 売り手と買い手になって, お店の商品についてやりとりする。)	あったらいいなこんなもの⑭(自分の考えた事物の説明をしたり, 説明を聞いて感想を述べたりする。) みんなでできよう⑥(話し合いと発表の共通点や相違点を意識しながら, グループで話し合う。)	わたしたちのまち平(わたしたちの学校行事より改題)⑭(丁寧な言葉で, 筋道を立てて相手意識をもって話す。) しりょうからわかったことを発表しよう⑦(資料からわかったことや考えたことについて, 筋道を立てて伝える。) よい聞き手になろう④(話の中心をはっきりさせて出来事の報告や説明をしたり, それを聞いて感想を述べたり質問したりする。)	だれもがかかり合えるように⑮(理由や事例などを挙げながら筋道を立て, 話し方の工夫を考えて相手意識をもって伝える。)	豊かな言葉の使い手になるためには⑭(自分の考えをまとめて, グループで討論する。) すいせんします⑥(理由を明確にして, 推薦したり, それを聞いたりする。)	学級討論会をしよう⑦(対立する立場の論点や争点をはっきりとさせながら, ルールに則って, 相手の意図を聞き取り, 自分の主張を伝える。) 「平和」について考える⑭(根拠を明確にもち, 資料を使いながら意見文を書き, スピーチする。) プロジェクト平⑩(自分の考えや思いが伝わるように, 適切な手段で資料を提示したり聞き手の反応を確かめながら発表する。)
あらわす	もうすぐ2年生⑨(自分の1年間を振り返り, 作文やカードなどに表す。)	かんさつ名人になろう⑫(観察したことをかんさつきろく文に表す。) 楽しかったよ, 2年生⑫(経験したことから書くことを決め, 構成を考えながら書く。) あしたへダッシュ⑫(自分の成長をふり返り, 表す。)	本はともだち⑥(おすすめの本を紹介するために, 文章や図表などを引用したり, 要約したりして, スピーチのメモを作る。) 食べ物のひみつを教えます⑥(事例を挙げて説明する文章を書く。) 本で調べてほくくしよう⑯(疑問に思うことについて, 本で調べて報告書を書く。)	本は友だち⑥(効果的な挿絵や言葉の引用を用いたり, それらの配置を工夫したりして, 本の良さが伝わるポスターを作る。) のはらのなかまになって④(自分が構想したことや友達の意見をもとにして詩を作る。) 三つのお願い⑨(考えと根拠の関係に注意し, 段落の構成を考えて感想文を書く。) 仕事リーフレットをつくらう⑦(書こうとすることの中心を明確にして, 写真と文章を対応させながら, 段落相互の関係に注意して書く。) ことわざブックを作らう⑮(ことわざを集めて, 構成を考えながら, ことわざについての本を作る。)	グラフや表を引用しよう④(引用した統計資料を根拠として, 意見文を書く。) わたしたちの「図書室改造」提案⑥(提案する文章の型を理解し, 読む人に提案の理由やアイデアが伝わるように提案書を書く。) 物語を作らう⑥(読み手を意識しながら, 構成や表現を工夫して物語を作る。)	この絵, 私はこう見る④(事実と感想, 意見などを区別するとともに, 目的や意図に応じた文章を書く。) わたしと本・森へ⑧(考えたことなどから, 書くことを決め, 目的や意図に応じて, 書く事柄を収集し, 全体を見通して事柄を整理しながら文章を書く。) 自分を見つめ直して⑦(事実と感想・意見などを区別しながら随筆を書く。)
くみたてる	おはなしきいて④(身近なことで相手に伝えたい情報を, 事柄の順序に気をつけて文章を構成する。)	お話のさくしゃになろう⑧(「はじめ・中おわり」の構成を意識して, 自分で想像したお話を考える。) どうぶつ園のじゅうい⑨(説明文を読み, 構成を意識して, 簡単な感想文を書く。) 友だちのこと知りたいな⑧(友達のよいところを見つけて, 構成を考えて紹介したいことを文章に書く。) おもちゃの作り方⑥(絵と文でおもちゃの作り方を説明する文章を構成する。)	気になる記号⑫(疑問に思ったことを調べ, 報告する文章の書き方に沿って内容を構成する。) 物語を書こう⑦(民話や物語の話の組み立てを参考に文章を構成する。) かるた⑧(各段落で中心となる語や文をとらえ, 引用したり, 小見出しをつけて整理したりして, 文章の構成を考える。)	読書生活について考えよう⑫(知りたいことについて必要な事柄を工夫して調べ, 方法・結果・結果から考えたことを明確にして報告書の内容を構成する。) 聞き取りメモの工夫⑥(目的や必要に応じて情報を聞き分け, 要点を考えてメモする。) 新聞を作らう⑤(新聞の作り方と特徴を知り, 記事を決め, 伝えたいことが明確になるように割り付けをしたり見出しをつけたりする。)	新聞を読もう②(編集のし方や記事の書き方に注意して新聞の報道記事を読む。) きいて, きいて, きいてみよう④(収集した情報を関連づけ, 目的や意図に応じてインタビューの内容を構成する。) 次への一歩 -活動報告書⑩(事実と感想や意見を区別したり, 目的や意図に応じて詳述する内容と略述する内容を分けたりする構成の工夫をして, 活動報告書を編集する。)	ようこそ, わたしたちの町へ⑫(パンフレットを作るために, 必要な情報を集め, 効果的な構成や材料の配置, 記述を考えて編集する。) 今, わたしは, ぼくは⑥(伝えたいことを中心に決め, 伝える相手や目的を意識しながら, スピーチの内容を構成する。)
なかまわけする	あつまれふゆのことば⑩(身の回りから冬に関する言葉を集めなまわけし, かるたをつくる。) くちばし⑨(くちばしの特徴を見つけ, 説明の順序や内容を考えて整理する。) みいつけた⑧(問いに対する答えを分類する。) じどう車くらべ⑫(自動車の特徴を「しごと」と「つくり」に分ける。) どうぶつ赤ちゃん⑭(図鑑の中から「生まれてきたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」にあたる部分を分けて書き抜く。)	きみたちは「図書館たんていだん」⑥(図書室の本の分け方や並べ方について調べたことを整理する。)				
あつめる	こんないしをみつけたよ⑤(目で見てわかることや手でさわってわかることを情報として集める。) かけるようになった⑥(絵日記, 手紙の材料を集める。) しらせたいな, 見せたいな⑨(家の人や友達に知らせたい学校の中の様子を集める。) いいこといっぱい1年生⑩(1年生をふりかえり, 思い出作文を書くための必要な事柄を集める。) はるとともだち⑩・なつともだち⑧ あきともだち⑭・ふゆともだち⑩(身近な自然から, 季節感のあるものを探し, カードに書き出して集める。)	今週のニュース④(身近なことをもう一度見直して, 知らせたいことを集める。) まちはたからばこ⑩(まちのよさを探す。)				

《センター級(特別支援級)における平小のスキルを育成する重点単元》 ※生活単元学習を中心に設定しています。

平小のスキル	単元名 (時数) (活動内容)
つたえる	卒業と進級を祝う会にてよう⑯(それぞれの表現方法で, まわりの人に成長したことを伝える。)
あらわす	えがおやをひらこう⑮(「えがおや」を通して, 人とのやりとりを学び, 自分の役割を果たす。)
くみたてる	遠足に行こう⑳(遠足に必要な情報をあつめ, 活動の流れの見通しがもてるようにしおりを作る。)

※「なかまわけする」場面では…ごっこ遊びを通して, 電車とバスの乗り方の違いを知る。  
実物を比較することで, 同じ品物でも色々な種類があることを知る。  
※「あつめる」場面では…活動の見直しをもつために, いくつかの資料を見る。  
実際の場面を見たり体験したりするために, 実際の場所へ行く。

[ この表で用いられている単元名は, 次の教科書(出版社)を参考にしています: 国語科(光村図書出版), 生活科(教育出版) ]

# 研究の成果と課題

「各教科・領域に点在している情報活用能力、特に情報活用の実践力に関する部分を洗い出し、項目ごとに系統立てて整理していけば、現行の学習指導要領の中で子どもたちに情報活用の実践力を確実に身につけさせられるだろう。」という仮説を立てて2年間の研究に取り組んできた。その結果、以下の成果と課題が生まれた。

- 成果**
- 情報活用の実践力を構成する項目について、子どもの活動や学習場面がイメージしやすい言葉で「平小のスキル」としてまとめることができた。また、情報活用の実践力を育てられる単元を教科・領域の中から抽出して整理した「平小のスキルを育成する重点単元一覧」を作成し、そこに掲載した全単元について指導計画を作成した。さらに、授業研究の積み重ねによって得られた知見を「平小のスキルの育成イメージ」や本時案の形式にまとめることができた。こうして実践を通して練り上げられてきたカリキュラムなので、学校現場で生かしやすいものとなったのではないかと考えている。
  - 「平小のスキル」育成を念頭に置いて日常的な授業実践と研修を重ねた結果、学校全体で教員間の協力関係が深まり、活発に知見が共有されるようになった。それによって、教員個々の授業改善が進んだ。学校全体としてもチームワークが向上し、職員全員で取り組む学校作り、という気風が高まった。
  - 情報環境の整備が進んだ。教材提示装置が全教室に配置され、デジタルカメラやタブレットコンピュータ等のICTが授業で日常的に活用されるようになった。また、全学級にグループ活動用のホワイトボードが配布された。これらの情報環境を従来の環境と合わせることで、協働的な学習場面で活用したり、課題解決の場面で主体的に活用したりしようとする子どもの姿が日常的に見られるようになってきた。こうしたことから、私たちがめざす子ども像の実現に向かって大きく前進できたのではないかと考えている。
- 課題**
- 実質的には「国語科における情報活用の実践力」の育成を中心に研究に取り組んできたが、その成果は他教科にも波及していることを多くの教員が実感している。今後は、カリキュラムの内容を実践しながら検証と見直しを行っていききたい。また、本校の研究成果を他校に伝えていくだけでなく、情報活用能力全般や他教科へと取り組みの対象を広げていくことが必要だと考えている。

## おわりに

本校の研究が皆さんの授業の一助になれば幸いです。また、研究を推進するにあたり、ご多忙の中ご指導を賜りました、

横浜国立大学 教育人間科学部 教授 野中 陽一 先生

川崎市教育委員会 委員長職務代理者（日本女子大学 教育学科 教授）吉崎 静夫 先生

明治大学 国際日本学部 特任講師 岸 磨貴子 先生

川崎市教育委員会 総務部 教育改革推進担当 共生・共育担当 担当課長 小川 俊哉 先生

川崎市教育委員会 総務部 教育改革推進担当 共生・共育担当 指導主事 辰口 直美 先生

川崎市立小学校情報教育研究会 会長（有馬小学校 校長） 中田 浩彰 先生

前川崎市総合教育センター指導主事（西生田小学校 教頭） 樋口 彰 先生

川崎市総合教育センター指導主事 栃木 達也 先生、熊谷 顯太郎 先生、椎名 美由紀 先生をはじめ、川崎市立小学校情報教育研究会常任委員の先生方、そして、2年間の研究の機会をあたえていただいたパナソニック教育財団の皆様  
に感謝し、心より御礼申し上げます。

教頭 福島 春人

## 研究に携わった教職員

★研究推進委員長 ☆研究主任 ○研究推進委員

校長	三上 勤	教頭	福島 春人	教務主任	猪又 和美	研究推進委員
田村 露那	○若狭 美加	河合奈都紀	○加納 聖子	中西 順子	佐藤 保	坂上優美子
須藤 知美	武野 結基	○水野沙由紀	渡辺佳菜子	○濱家恵以子	石川 英雄	山中 正子
★田中 啓介	那須 遥	岩崎 幹	石渡菜穂子	☆福山 創	江端 珠代	福澤 律子
小泉 京子	中村由記子	○松本 隆太	保坂 唯	織茂 春樹	岡崎 愛	横田 礼子
中野 泰宏	佐藤 敏子	大久保利一	板津 典子	廣島 大悟	服部 広美	一場 茂樹
宮澤知恵子	其山 麻子	栗島 千愛	金子 和美	山本七月子	三木 洋子	
(平成24年度教職員)						
教頭 巢永 和子		中野 絹子	藤川 万里	森 朋子	柳田 圭子	長澤 拓也
古山千賀子	長田 貴子	小川 幹夫	小林 照美			